

緑の環境デザイン賞「国土交通大臣賞」の授賞式が開催されました

2014年11月5日(水)、ホテルオークラ東京において「第25回緑の環境デザイン賞」の授賞式が開催され、「玉浦西まちづくり住民協議会」の皆さんが「国土交通大臣賞」を受賞されました。

「緑の環境デザイン賞」は、地域の美しい景観形成や人と自然が共生する都市環境の形成に寄与する緑化プランを公募し、表彰・助成する顕彰制度です。このたび、「国土交通大臣賞」の受賞が決まり、副賞（緑化工事助成）により、2015年春には玉浦西に伝統的な防風林（居久根）が誕生する予定です。

「玉浦西まちづくり住民協議会」による応募プランの概要は、防災集団移転地における新たなまちづくりの中で、文化的景観としての地域の伝統的な防風林を再現し、未来への継承を目指すもので、住民による維持管理を通じ、コミュニティの醸成をはかり育むことを提案しました。移転する6つの集落の人々のコミュニティの醸成と、取り組みの主体となる住民協議会と市の役割分担などを念頭においた計画が、復興まちづくりのモデルとして高く評価されました。

人間総合理工学科環境デザイン研究室では、居久根の再現プロジェクトをはじめとして、今後も引き続き玉浦西における復興まちづくりを支援していく予定です。



居久根の完成イメージCG



国土交通大臣政務官より表彰を受ける中川会長



受賞者を代表して挨拶する中川会長



受賞後の記念撮影